

テトラクロロエチレン・C₂Cl₄

保護具	中毒が発生した時の応急措置	取扱上の注意事項	生ずるおそれのある疾患の種類及び症状
<p>○適切な呼吸器保護具（有機ガス用防毒マスク）、適切な保護手袋（化学防護手袋）、適切な眼の保護具（側板付き保護眼鏡、ゴーグル型、全面保護眼鏡）、適切な保護衣（長袖作業衣）を着用すること。</p>	<p>○吸入した場合…空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。気分が悪い時は、医師に連絡すること。</p> <p>○皮膚に付着した場合…多量の水と石鹸で洗うこと。皮膚刺激が生じた場合、医師に連絡すること。汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯すること。</p> <p>○眼に入った場合…水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用して容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。眼の刺激が続く場合は、医師に連絡すること。</p> <p>○飲み込んだ場合…口をすすぐこと。気分が悪い時は、医師に連絡すること。</p>	<p>○貯蔵ないし取扱う作業場には洗眼器と安全シャワーを設置すること。</p> <p>○装置の密閉化又は局所排気装置を設置すること。</p> <p>○屋外又は換気の良い場所でのみ使用すること。</p> <p>○取り扱い後にはよく手を洗うこと。</p> <p>○使用前に使用説明書を読み理解するまで取り扱わないこと。</p> <p>○すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。</p> <p>○ミスト・蒸気・スプレーを吸入しないこと。</p> <p>○この製品の使用時には飲食、喫煙は禁止。</p> <p>○皮膚との接触を避けること。眼に入れないこと。</p> <p>○環境に放出しないこと。</p>	<p>○吸入すると有害（めまい、し眠、頭痛、吐き気、脱力感、意識喪失）</p> <p>○皮膚刺激（皮膚の乾燥、発赤）</p> <p>○眼刺激（発赤、痛み）</p> <p>○経口摂取（めまい、し眠、頭痛、吐き気、脱力感、意識喪失、腹痛）</p> <p>○発がんのおそれ</p> <p>○生殖能、または胎児への悪影響のおそれの疑い</p> <p>○授乳中に子に害を及ぼすおそれ</p> <p>○神経系、呼吸器、肝臓の障害</p> <p>○眠気やめまいのおそれ</p> <p>○長期にわたる、または、反復ばく露により神経系、肝臓、呼吸器の障害</p> <p>○長期にわたるまたは反復ばく露による腎臓の障害のおそれ</p> <p>○水生生物に非常に強い毒性</p> <p>○長期的影響により水生生物に非常に強い毒性</p> <p>○液体を飲み込むと、肺に吸い込んで化学性肺炎を引き起こす危険がある。中枢神経系に影響を与えることがある。高濃度の場合、意識を喪失することがある。</p>